長子配布

【学校教育目標】「自ら気づき、考えて、行動する子どもの育成　～やさしく かしこく たくましく～」

武雄市立東川登小学校　令和８年度　学校便り　第７号

かがやく 東っ子

－ 響き合う 東っ子の輝き －

令和８年８月２６日
文責 校長 坂本康子

東川登小 HP

１学期後半のスタートです！　～楽しかったね！夏休み～

いよいよ１学期後半がスタートしました。校舎に子どもたちの元気な声が響き渡り、一気に活気が戻った様子です。依然として厳しい暑さが続いておりますが、登校する子どもたちの姿を見ると、夏休みの間に様々な体験や経験を積み、心も体も、一回り大きく成長したようで頼もしく感じます。

ご家庭、地域のみな様の温かい見守りとご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、９月に入りますと、さっそく運動会の練習が始まります。暑さが残る中での練習となりますので、学校でもこまめな水分補給や休憩など熱中症対策には最大限の配慮をしてまいります。ご家庭におかれましても、「早寝・早起き・朝ごはん」を意識していただき、健康管理へのご協力をよろしくお願いいたします。

「心」と「木の根っこ」の話

「１学期後半を始める会（８月25日実施）」では、３名の児童が、夏休みの思い出を発表してくれました。キッズルームでの「すいか割り」、スイミングでの「クロール練習」、「社会体育でのバーベキュー会」など、思い出深い体験や経験を紹介してくれました。

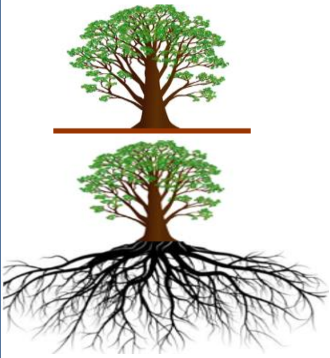
それらを踏まえて、私からは、以下のような「心」と「木の根っこ」の話をしました。

～中略～夏休みに自ら様々なことにチャレンジして、体験や経験を積んだみなさんの「心」は成長しています。「心」は目に見えないので、身長や体重のように「何㎝伸びた」とか「何kg増えた」などと確認することができません。ですから「本当に心って成長するの？」とか「自分の心は成長しているのかな？」と疑問をもったり、不安になったりする人がいるかもしれません。

【裏面につづく】

【裏面】

けれども、体験や経験を積んだみなさんの「心」は確実に成長しています。勇気を出してチャレンジしたり、悩んだり、泣いたり、楽しんだり、喜んだり、汗や涙を流したりした分、「心」は間違いなく成長しています。



みなさんの「心」は、木の「根っこ」と同じです。
木の「根っこ」も、目には見えません。見えないけれども、とっても大切なものです。なぜかというと、強風が吹いても木が倒れないのは、木の根っこが土の中でしっかりと土壌をつかんで木を支えているからです。枝を伸ばし、青々とした葉を茂らせたり、きれいな花や美味しい果物を実らせたりできるのも、木の根っこが、しっかりと栄養を吸い上げてくれているからなのです。

私たちが、苦しいことや辛いことに直面したとき、木の「根っこ」のように、倒れないよう乗り越える力をくれるのは、「心」です。将来、みなさんが「成功」という花を咲かせたり、目標の「達成」という実を実らせたりできる力をくれるのも、この「心」です。

みなさんには、これから先も、この「心」を育てるチャンスがたくさんあります。悩んだり、泣いたり、喜んだり、楽しんだり、汗や涙を流したりしたときは、「心」が成長しているときです。そんなときは、「心が成長している」と思って、自分で自分を褒めてください。
東っ子は、みんなが「東っ子チャレンジャー」です。これからも、「心」を自分の力で成長させていってください。

育友会：小学校除草作業　ありがとうございました

8月23日（日）の除草作業には、早朝からご参加いただき、大変ありがとうございました。学校が大変美しくなりました。9月からの運動会練習も安全に実施できます。

～草刈り機が使用できない場所は手作業で草を取っていただきました～

～銅像や石碑が顔を出しました～

～芋畑の雑草がすっかり、なくなりました～

「これからの学校の話をしよう」は、武雄市教育委員会が示す『ひとりひとりをみつめて、学校を次の時代へ進める』ための武雄市学校教育ビジョンです。